



学年集会 ～君たちは本当に“このまま”でいいのか？～

現状 3学年の先生方から聞かれる声

- 勉強を続けている生徒も増えてきましたが、弱気になって受験科目を絞ろうとする生徒もいます。
- 生徒が事前に何の相談もなく志望大学や志望学部の変更を申し出て来ました。特に私立大学への変更が多いようです。
- 「大学入試は担任の先生が何とかしてくれる」と考えている生徒がみられます。
- 出願のため先生に書いてもらう必要のある書類（調査書や推薦書など）の存在を、担任に指摘されて初めて気づく生徒がいます。

1 進研6月マークと全統8月マークの比較

	進研6月マーク	全統8月マーク
総受験者数	264,367人	262,764人
うち既卒生	14,727人	28,294人
既卒の割合	5.60%	10.80%

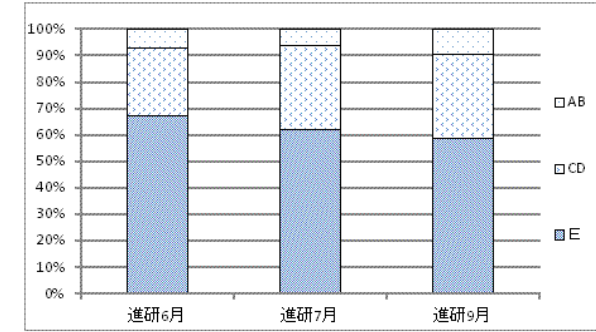
8月以降の模擬試験には、大勢の既卒生（浪人生）が参加してくる。当然のことながら、現段階の既卒生の成績は、現役生より遙かに高い。

⇒ 今後の模試の焦点：現役生が既卒生にいかに関わり、追い付き、追い越すか？

2 全統8月マークの現浪成績比較

	現役生平均（偏差値）	既卒生平均（偏差値）	偏差値の差
理系（5-7）	481.0（48.7）	611.3（58.7）	10.0
文系（5-7）	470.8（49.2）	594.2（59.6）	10.4

3 本校3年生の現状 ～第一志望校に対する判定分布の変遷～



成果はゆっくり現れる。そして、君達のゴールはまだ先にあるのだ。

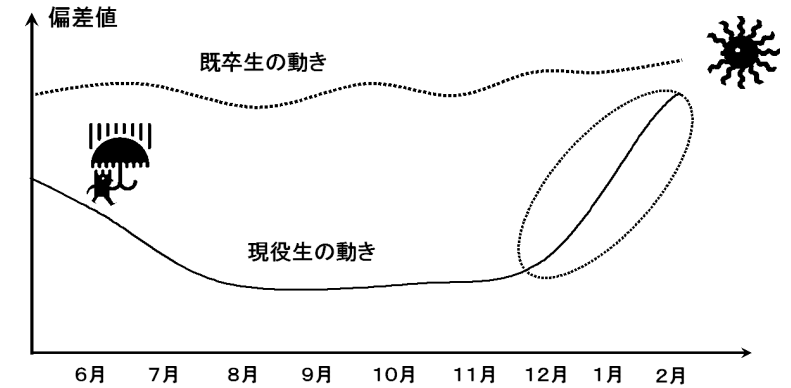
結論 この時期のんびり構える余裕など、現役生にはない。

現役生が既卒生に追い付くためには、ここからの追い込みが必須！

4 「私はやっている！」という生徒のみなさんに対するエール

これからの学習のポイント

- 科目を絞らない。
- 忙しい時こそ、学校を大切に
 - ◎ 生活リズム
 - ◎ 授業は学力の源
- 過去問を解いて、専門教科・科目の先生に評価してもらう。



3年生がスタートしたときに、成績が一気に下がる人がいます。これは、模擬試験に既卒生との競争も加わったために起こる現象です。知っておいて欲しいのは、点線で囲んだ、最後の伸びが現役生には待っています。しかし、3年秋までにあきらめたらこの伸びは生まれません。この伸びを経験し、成長を実感することが、受験生活の価値なのです。

11月の行事予定

- 1日 大町交差点交通指導
- 4日 **ベネッセ・駿台マーク模試（～5日）**
- 10日 教育相談日
- 16日 高等学校学力調査
- 20日 頭髪服装検査（～24日）
- 21日 体罰・セクハラ相談日
- 24日 教育相談日
- 28日 PTA合同下校指導
- 30日 期末考査（～12月5日）

枯れるのではありません
大地を豊かにするのです

新たな命のもとになります